



いきま



議会だより

No.176

令和元年8月号

8月5日 総務文教常任委員会所管事務調査

8月号の主な内容

- 議会構成……………②
- 議会の動き・お知らせ……………③
- 一般質問……………④～⑫
- 難波議員 蘭越高校の募集活動
- 中島議員 プログラミング教育
- 永井議員 道立蘭越高校の今後 外1本
- 田村議員 道の駅の方向性 外1本
- 柳谷議員 目名低家賃住宅の換気対策 外2本
- 審議結果……………⑬
- 町長からの行政報告……………⑬
- 議会日誌・編集後記……………⑭

議会の構成が決まりました

統一地方選挙後の初議会である第2回蘭越町議会臨時会を令和元年5月8日に開会し、正副議長の選挙、常任委員の選任等、議会の構成を決めましたのでお知らせいたします。



副議長
熊谷 雅幸



議長
富樫 順悦

議会運営委員会

- 委員長 赤石 勝子
- 副委員長 永井 浩
- 委員 難波 修二
- 委員 向山 博
- 委員 田村 陽子

総務文教常任委員会

- 委員長 難波 修二
- 副委員長 向山 博
- 委員 富樫 順悦
- 委員 柳谷 要
- 委員 金安 英照

経済建設常任委員会

- 委員長 永井 浩
- 副委員長 中島 溢
- 委員 熊谷 雅幸
- 委員 赤石 勝子
- 委員 田村 陽子

監査委員（議会選出）

- 柳谷 要

後志広域連合議会議員

- 富樫 順悦

羊蹄山ろく消防組合議会議員

- 永井 浩
- 金安 英照

南部後志環境衛生組合議会議員

- 向山 博

後志教育研修センター組合議会議員

- 難波 修二

消防委員会委員

- 金安 英照（昆布方面）
- 永井 浩（蘭越方面）
- 向山 博（三和名駒方面）
- 柳谷 要（港御成方面）
- 田村 陽子（目名方面）

表彰審議会委員

- 永井 浩
- 向山 博
- 赤石 勝子
- 金安 英照

議会だより編集委員会

- 委員長 向山 博
- 副委員長 中島 溢
- 委員 永井 浩
- 委員 田村 陽子
- 委員 金安 英照

議会の動き

◆令和元年度蘭越町議会活動計画として、議会全体の活動計画と各常任委員会の活動計画が協議され、次のとおり取り進めることとなりましたのでお知らせします。

■議会全体の活動計画

- ① 常任委員会活動の充実と研修の強化
 - ・常任委員会の活性化と研修事業の内容充実を図ります。
- ② 第3回「町民との意見交換会」の実施
 - ・運営方法の一層の改善と定着化を進めます。
- ③ 「第6次蘭越町総合計画」審議の充実
 - ・町の最上位計画である総合計画の策定に当たって、複数回の内容検討、提案・意見反映を目指す審議に努めます。

■常任委員会の活動計画

総務文教常任委員会

(所管課は、総務課、税務課、住民福祉課、健康推進課、教育委員会)

- ① 柔軟で機敏な委員会運営
 - ・昨年から取り進めている委員会運営の定着を図ります。
- ② 新規に取り組む事業計画の点検調査
 - ・町長の執行方針に掲げる新規事業等の内容点検を進めます。
- ③ 当面する懸案事項の調査研究
 - ・近年中に課題となる事項への調査研究の着手

経済建設常任委員会

(所管課は、農林水産課、農業委員会、商工労働観光課、建設課)

- ① 新規事業の計画、実施に関する点検調査
 - ・町政執行方針に掲げる事務事業や新規事業の状況を調査します。
- ② 継続検討中の重点事業に関する点検調査
 - ・鳥獣被害の現状と対策、ふるさと納税の現状と今後の対応策等、昨年度の点検調査項目の適宜調査の実施
- ③ 新規・継続事業共通事項
 - ・特に重要と思われる事務・事業については、常任委員会において協議したうえで調査します。

8月5日に教育委員会、8月30日に総務課の所管事務調査を実施します。
 税務課・住民福祉課・健康推進課については、10月に実施する予定です。
 調査した内容と意見については、議会だよりに掲載いたします。

8月22日に農林水産課、農業委員会、商工労働観光課の所管事務調査を実施します。
 建設課については、10月に実施する予定です。

議会からの お知らせ

蘭越町議会では、省エネルギーに対する意識向上と環境負荷の軽減を図るため、国及び北海道の取り組みに同調し、併せて夏季における会議を少しでも能率的に行うための手段として、また、後志管内のほとんどの町村議会において軽装化(クールビズ)を行っていることから、議会におけるクールビズの励行について町に申し入れしました。



励行期間は、6月1日から9月30日まで、実施内容は、議場内については、上着を着用してノーネクタイ、各委員会(所管事務調査等)については、ノー上着・ノーネクタイとしています。

6月17日に開催された第2回定例議会から実施しております。

令和元年第2回定例会

6月の定例会では5人の議員が一般質問しました（内容を要約してお知らせします）。



一般質問



蘭越高等学校の募集活動について

難波 修一議員

蘭越高等学校

の本年度の入学者は、様々な要因のため6人となり、仮に来年度の入学者が10人を下回った場合、再来年度は募集停止となることから、今年度の募集活動は大変重要な意味を持ちます。

来年度10人の入学者を確保するためには後がない状態であることから、現在の状況と、来年度に向けた新たな募集活動の進め方などについて伺います。

首藤教育長

6月4日に蘭高

校長、蘭中学校長、愛星学園施設長、教育委員会で入学者確保のための打合せを行い、中学校からは卒業者が41名の予定であり、蘭越高校を1次希望している生徒が6名、2次希望が5人とのことでした。愛星学園に対しては、10名の入学者を確保するため、蘭越高校へ進学できる中学生の入所をお願いしたところです。

愛星学園と合併した余市福祉会

や北海道児童相談所、黒松内つくし園を訪問

し、蘭越高校の状況を説明するとともに、養護施設への

生徒の入所や、蘭越高校への入学をお願いしてきたところ

です。



新たな募集活動の進め方ですが、蘭越高校の厳しい現状について、

蘭越高校を地域とともに考える会の会報などで、広く町民の皆さんに周知し、蘭越高校の必要性を理解していただきながら、存続活動を全町的な取り組みにしていかなければならないと考えています。

難波議員

生徒数の減少や進路

志望の多様化などから急激に入学者が減る中、関係者は努力されて

いますが、来年度の入学者を確保できなければ、募集停止になることは道の指針でも明確です。

現在も行っている町外から蘭越高校に入りたいという入学者に対する下宿などの支援を充実させたり、海外へのショートステイ研修事業制度の拡大など、魅力ある大胆な政策や新たな支援制度を検討し、それを早めに近隣町村等へ周知をしていくということを、是非考えていただきたい。

教育長

蘭越高校では、スキー

部等に力を入れ、その指導を受けたいと他町村から来ている子供もいます。下宿代の支援や、まだ下宿可能だと下宿先には聞いておりますので、そのようなかたちで募集活動を徹底したい。

金町長

来年が10名切ると募集

停止という事で正念場ですので、議会の皆さん等も含めて、色々御提案ございましたら、また御意見を聞いて、募集活動を進めたいと考えています。

プログラミング教育について



中島 溢子議員

プログラミング

グ教育について、2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されることになっています。蘭越町での取り組みはどのようになっているのか伺います。

首藤教育長

平成29年3月に告示された小学校学習指導要領の全面改定に伴い、2020年度から小学校においてプログラミング教育が必修となります。

目的としてプログラミング教育を通して、子供の論理的思考力や問題解決能力を育むとともに、コンピュータが浸透してきた社会で生きていくために必要な能力を向上させるためのものとされています。

具体的なプログラム授業については、平成30年4月に文部科学省が作成した、「小学校プログラミング教育の手引き」によると、5年生の算数で「多角形の作図」、6年生の理科で「電気の性質や動

き」、3年生から6年生の音楽づくりなどの授業にプログラミング教育を組み込むことが指導事例として示されています。算数や理科、音楽の授業などにプログラミング教育を組み込むことで、プログラミングのみならず、各教科の理解が深められるというものです。

蘭越町での取り組みについては、町内の各小中学校においては、理科や算数の授業で、教材に使用できる学習用マイクロコンピュータの利用や、文部科学省がインターネットで公開している、自分の描いた絵をプログラムで動かすサイトを授業で活用するなどの取り組みが進んでい



ます。また昨年12月には、NTTドコモの担当者を招き、プログラミング教育についての校内研修を行い、先生の指導力の向上を進めています。

さらに昨年度更新した、蘭越小学校の教育用コンピュータには、児童が簡単にプログラミングを行えるよう、タブレット端末とプログラミング教育セットを導入し、授業での活用を期待しているところです。来年度から本格的にプログラミング教育が小学校で始まりますので、今年度はその準備を行う大切な時期になりますので、教育委員会としまして、適切な指導と支援を、各小学校先生に行つてまいります。

中島議員

幼児期からスマートフォンやゲーム機、インターネットなど、日常的に接している子どもたちには、プログラミングも純粋な好奇心で、ゲーム機で慣れているのではないと思っておりますし、学校の先生ばかりではなく、覚えて

いる人が教える、プログラミングを習得された方が、知らない人に教えるという時代になっていますので、1日でも早く、幼稚園や小さい子どもさん方にも、やって

いただけたらなと思います。

教育長

幼稚園については、学校教育と離れますので、どのように取り組んでいるか確認をしながら、それが小学校にどう活かせるかということも含めて取り組んでいきたいと考えています。

中島議員

世界の教育大国であるフィンランドでは2016年から小学校で必修化されており、また、イギリスでは2014年から5歳以上の子供に必修化されております。日本でも2020年から取り入れられるということになっているようですが、子どもは色々な機械やゲームに慣れているので、少しでも早くプログラミング教育にも慣れ親しんでいければと思っています。

教育長

どんどん低年齢化が進んでいますので、小さい子どもたちの活用状況も含め、それが小学校にどのようにかかしていかけるかを検討していきたいと考えています。



道立蘭越高等学校の今後について

永井 浩議員

以前から、同僚議員も質問しておりますが、道立蘭越高等学校の今後の存続のための政策について、時間的に限界だと思えます。

このままでは廃校になるのは確かなことだと思えますが、蘭越町の考え方を伺います。

金町長

蘭越中学校の生徒数は、年度によって増減はあるものの減少傾向にあるため、蘭越町内だけで蘭越高校の入学者を確保することは厳しくなっており、他町村や他の学校からの入学者がなければ存続は困難であると考えています。

蘭越高校の入学者が確保できるのであれば、高校への支援や募集活動に力を入れて、高校を存続させたいと考えていますが、入学者の確保も大変厳しい現状の中、いつまで存続させていけるのかという現実も見据えていかなければならないと考えています。

このようなことから、蘭越高校

全国大会を目指す。

寮にて教育・指導し、その生徒達は蘭越高校に通学させ、よって蘭越高校の科目変更はせず、現在のまま運営していただく。

専門寮を設置し、その分野に高く志を持った生徒を作ることにより、蘭越町及び蘭越高校のブランド力の向上を図る、このような考え方についてどう思いますか。

町長

蘭越高校の存続について、これまでも色々な支援をしてきましたが、現実として生徒数が減っていく中で、どのような支援策で進めることが良いのか非常に苦労しているところです。

永井議員からの提案も、町民の方々から理解をしていただき、皆で応援しながらやっていくという形ができあがれば、ひとつの方法であると考えます。

今年は何んとか10名を確保するよう取り進めていきたいと答弁しましたが、今後どのような方法でやっていくかについて、新たな検討委員会を早急に設置し、協議したいと考えています。

永井議員

蘭越高校に魅力を持たせるには、志を持った子供たちが入学し、志を持てるような学習

活動が出来るかということであり、それを持たせ協力するのは蘭越町や地域でやる、あくまでも私たちは、志を持った子供たちを育てるんだという使命感でやらなければ、蘭越高校の今後はないと思います。

町長

志を持つ生徒を育てる、これが蘭越町の使命だということ、議員が話されたことは十分理解しているところです。

ただし、子どもが将来をどういう形の中で成長しそれを活かすかは、それぞれの家庭で考え方があり、それぞれなので、議員が話されたこともひとつの方法であると考えます。

今年、蘭越高校を何とか存続させたいという思いを町民の方々にも理解していただき、議員の皆様にも協力していただき、存続させていきたいと思えます。

高校のあり方というのは、様々な方法もあると思えますので、そういうことを議論しながら、町民に理解を求めていきたいと考えています。

高齢者の運転による

多重死亡事故が発生しているが、

本町においての対策について

永井議員 今年に入り、高齢者ドライバーによる多重死亡事故が多発しています。

一般市民ばかりでなく、元官僚や弁護士など見識の高い方々による重大事故もありました。本町においても重大事故にはなりませんでしたが、いくつかの高齢者による事故が発生しております。

都県知事からも色々と政策が発表されているところですが、本町における対策や政策はどのようなになっているのか伺います。

金町長 蘭越町におけるこれまでの取組みですが、蘭越町高齢者交通事故防止対策協議会を平成7年に設置し、交通安全講習会の実施、高齢ドライバー部会による各種交通安全啓発活動への参加などを行っています。

また、運転免許証の自主返納に對しては、運転経歴証明書の発行費用の助成を行っています。

今後は、昨今の重大事故の多発

も踏まえ、交通安全対策の基本的な考え方に沿って、また、他の自治体で実施している対策などを参考としながら、限られた予算と人員で、より大きな効果が得られるよう、優先順位を付けながら必要な対策を講じていきたいと考えています。

永井議員 70歳、80歳まで地域に貢献した方々が、一瞬の事故で犯罪者となる、また、同じ町の人たちをはねてしまい、お互いが不幸な目に合うということとは、防がなければならぬし、そのためにも商店街の再整備に繋がる、総合診療所の建設後には、優先順位として共生住宅の建設など、これからは、高齢者等が歩いて暮らせるまちづくりを目指していかないとならないと思います。

町長 市街地の中に高齢者の方々が住むことができて、買い物などが安全にできるという考え方も、十分検討していかなければなら

ないと考えています。

各市町村の報道を見ると、自動車に安全装置などを付ける費用を助成するというような報道もありますが、自動車に関しては今後色々な政策が出てくると思いますので、内部で検討しながら高齢者に対応した政策ができないかということも合わせて考えていきたいし、交通安全の指導啓発を行うっていくことも必要だと考えています。



また、民間活力の中で、町内にアパートを建設していただいており、歩いて暮らせるまちとしての空間づくりが進められております。財源が伴うことですから、今後においても検討しながら進めていきたい、また、高齢者の事故がないよう関係機関に周知を図りながら進めていきたいと考えています。

永井議員 高齢者の運転による事故は、本人の認識力が少なくな

っているというケースが多いと思いますが、日常的に車に頼る生活にせざるを得ない現状もあります。

認知症の方々を地域で見守っていかねばならないというふうな、だんだん変わってきていますし、役場内でも認知症の方々の状況の確認や免許の取得状況などの情報を共有し、運転免許証の返納等を促進していくことも大事な事だと思っておりますので、横の連携も含め考えていただきたいと思います。
町長 横の連携が大切だと私もそのように考えています。

今の現状を、それぞれが認識し、連携して対策を取るということも必要であり、今年は総合計画も策定しますので、できる限り連携を図りながら対策を講じていきたい。また、役場だけでできる問題ではないと考えていますので、色々な協力を仰ぎながら、少しでも交通事故がない安心・安全で暮らせるまちづくりを、目指していきたいと考えています。



道の駅の方向性について

田村 陽子議員

現在、各地の

観光にとって道の駅は、大変重要な役目を担っております。

道の駅めぐりやスタンプリナーなど、必ず立ち寄ってくれる方が、今の蘭越の2つの道の駅の現状をどう思っているのかをゴールデンウィークにアンケート調査してみました。

その中で、道の駅の名が泣くと辛らつな言葉をいただき、全体として特徴が見えない道の駅とのお声が多く、たくさんの課題が浮きぼりでした。また、市民の利用度が低いのも大きな問題です。

自分たちの町の道の駅が自慢で、来客の方々に自信をもって連れていくという存在になることがとても大切だと考えますが、次の4点について伺います。

1. 民間委託したと以前聞きました、変化が見えませんか。どこが変わったのでしょうか。
2. 道の駅に訪れたお客様の声を

聞いたことはありませんか。

3. トイレ改修の具体的な部分と、冬期間閉鎖解除への道は考えないのででしょうか。
4. 道の駅の施設を今現在のままとするのか、大幅なりニューアルの方向についての考えはないのでしょうか。

金町長

1点目について、民間

の経営ノウハウを取り入れ、より充実したサービスを提供するために、平成30年4月より販売管理の業務委託をお願いいたしました。経過にありました。町が期待する販売管理



の内容とはほど遠く、同社からは期待に応えるだけの業務はこれ以上できないと回答をいただきましたので、本年4月より町での運営

に戻しました。

今後民間の力を借りて運営していきたいという考え方には変わりがなく、引き続きどういう方法がふさわしいのか、検討を進めたいと考えています。

2点目について、店舗に従事している職員とは、常に情報交換し、いただいたご意見を職員で共有しているほか、担当の課長も含め職員も度々店頭に立ちついでありますので、お客様と接することで、ご意見等をいただいたことを内部で反映させるよう、検討しているところです。

3点目について、ふるさとの丘は平成4年に建設され、その後、道の駅の認定を受けるために夜間、冬期用及び身障者用のトイレを平成15年に増設しましたが、平成4年に建設されたトイレは、冬期間使用できる設計にはなっており、凍結防止の措置が施されていないのが現状です。

冬期間も利用できるようにするためには、暖房設備の設置が必要であること、冬期間の除雪や維持管理等、また、来場者数などを勘案すると、今後も慎重な検討が必要であると考えています。

4点目について、北海道に道の

駅は122箇所あり、それらの施設と比較すると、見劣りするの事は事実ですが、当面は多額の費用をかけて施設の改修を目指すということではなく、地元野菜の販売強化、後志ブランドコーナーの設置、有機栽培食品の販売、アンテナショップコーナーの設置など、特色ある販売戦略も検討しながら蘭越という地域の魅力を発信する拠点としての役割を模索したいと考えています。

田村議員

アンケートの中では、

駐車スペースが狭く、ドアの開け閉めが大変だとの声もありましたし、冬期間利用できるトイレについても簡易な建物だし一人しか利用できないなど、素通りの要因だと思えますし、来てくれた方へのケアが大切だと思います。

町長

平成4年に建設したトイレについては、洋式ウォッシュレット付きに改修し、少しでも来ていただける方への利便性を図りたいと、今年の予算で措置をしたところでは、

いただいたご意見を参考にしながら、検討していきたいと考えています。

住民説明会の行政側の捉え方について

田村議員

統合診療所建設に係

る住民説明会に参加しましたが、平日夕方5時からの開催という点とで、全員で15名ほどの参加者でした。開催されること自体を知らない、平日の5時になって行けないなどの声をたくさん聞いております。行政として、住民の皆さんに細かくお知らせをして出席してもらう努力が必要ではないでしょうか。次の3点について伺います。

1. 開催日時の決定理由と、今回の説明で目的が十分果たせたかどうか。
2. 学校、保育所、幼稚園、学園等子どもたちが関わる機関への個別の案内はされましたか。
3. 今後の住民説明会の位置づけをもう少し早い段階でセッティングできないのでしょうか。

金町長

1点目について、開催

日時は、会場の利用可能日や、周知期間などを勘案して決めており、午後5時という時間は、賛否ある

と思われませんが、行政協力員宛文書、ふれあい通信等、これまでと同様の周知方法を取っており、住民の皆様には認知、ご理解いただいていたものと考えています。

一方で、平日の夕方5時からでは参加できないとの声があるとのことですので、今後、開催日時にあっては、曜日や季節等も考慮しながら決定するよう努めたいと思います。

2点目について、今回の住民説明会開催に際しまして個別案内はしておりませんが、4月19日付で、蘭越小学校、蘭越中学校、北海愛星学園には、統合診療所建設に伴い、通学路とされている児童及び生徒に工事着工を知らせていただくとともに、工事現場等へ立ち入りしないなどの注意をしていただくよう、文書又は担当職員が直接施設へ訪問し、お願いしたところです。

3点目について、各種事業や大

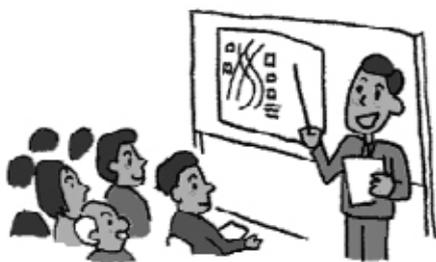
規模な計画等は、例年各地区で開催している町政懇談会やお茶の間の懇談会で説明をさせていただいており、基本的にはこれからもそうした機会を通じて、町民への提案周知を図っていきたくと考えています。

議員が言われる、住民説明会がどの段階での説明会なのか、はつきりと解りかねるところもござい

ますが、先に申し上げましたとおり、早い段階での主たる説明の場としては、町政懇談会等を位置付けておりま

すし、個別具体的な説明会は、詳細な書類等が完成次第、できるだけ早急に実施していきたいと考えています。

今回の説明会において、行政側の進め方に町民が一定の疑義を感じられたということは真摯に受け止めており、今後、町民はもとよ



り、町民の代表である議員の皆様にも、間接民主主義の本旨に乗っ取り、行政の懸案事項や各種計画等について、必要に応じてお知らせするとともに、ご意見等もいただきながら進めてまいります。

田村議員

内容が固まってから

の提示ですと、住民の声は反映されないと思いますし、図面が出来上がる前に住民の声が反映されるようなタイミングを取れないのかというところですか。

今後、そのタイミングというのをもう少し細かくできる方向でいってももらえればと思っております。

金町長

統合診療所のあり方、

そして進捗状況について、2年間かけてお知らせし、議会等も含めて協議させていただき、理解を得られたという部分があることから建設に踏み切った経過にござい

ます。今後の計画においては、住民からの意見を取り入れる方法は可能だなど思いますし、一般公募など広く皆さんから募集し集まってもらい、委員会を立ち上げて協議をするなど、内部で検討したいと考えています。



目名低家賃住宅の

換気対策について

柳谷 要議員

目名低家賃住宅で、湿気による壁の結露でカビが生えたり壁紙が剥がれたりしています。リフォームも含め改修の必要性はないのでしょうか。調査の上善処願います。

金町長

目名低家賃住宅のカビの発生やクロスの剥がれについては、入居者から担当課に連絡が入っていないことを確認しておりますが、カビ等は人体に悪影響を与える可能性もあることから、大至急、現状を確認するよう指示したところです。町内各地区の低家賃住宅は、年次計画的に屋根及び外壁の塗装修理を実施しており、目名地区については、平成24年度、平成25年度に実施をしたところであります。

室内の改修は入居中のままだと入居者の留守の時には施工ができない、室内の家具等の移動を入居者にお願いしなければならぬなどの課題もあり、大々的な改修等

査の必要性を強く感じました。

低家賃住宅全般のグレードを高める改修が予算化できればいいなと思っております。

金町長

この質問をいただき、すぐ担当課に現状確認するようにと指示をしたところです。

町からは、換気等を含めて文章等も出していますが、年次的、緊急性を考えながら対応していかなければならぬと、内部で協議しています。

目名の低家賃住宅については、早急に内部の確認を行い、改修が必要だと判断した場合には、補正することになります。対応していきたいと考えています。

柳谷議員

建物の改修も必要ですが、居住の仕方についても、今一度入居者の皆さんとおさらいをし、快適な生活をしていただくための努力も同時に必要ではないかと思えます。

金町長

入居者にお話を聞いた中で改修の方と、入居者も合わせて協力していただく、そして今後、町においてもそういう意見を参考としながら、十分に検討しながら進めていく考え方も持っていますので、ご理解を願いたい。



議会からの
お知らせ



議会を傍聴しませんか

傍聴を希望される方は、議会開催日に役場3階議会事務局にお越しください。

議会の定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

臨時会が必要な都度、開催されます。

開催日は町のホームページでお知らせします。

議会だより編集委員

- 委員長 向山 博
- 副委員長 中島 溢子
- 委員 永井 浩
- 委員 田村 陽子
- 委員 金安 英照

学校給食の完全無料化について

柳谷議員 学校給食の半額無料は3年目を迎えました。

事業の総括と全額支援への考え方について、町長の考えを伺います。

金町長 学校給食の助成は、子育て支援という目的の一環として、子育て世代に対する経済的負担の軽減を図り、人口減少対策に資するため、予算上では地方創生対策として実施しているものです。

令和元年度当初予算では、700万円を計上し、約210世帯、250名の児童・生徒を対象としています。

子育て支援の方策は、学校教育との連携や保育の充実をはじめ、母子保健、ひとり親家庭への支援、貧困対策など多岐にわたり、その中で経済的負担の軽減策として、本町では、誕生祝金の支給や学校給食費用の助成などを行っているところです。

そうした中、平成29年度から実

施した学校給食の助成は、財政運営上の理由と、受益と負担という社会的公平の観点から、半額としたものです。

事業の総括ということですが、保護者からは、ありがたいという声も寄せられており、本施策の実施効果について一定程度の評価をしているところですが、実施からまだ2年の経過に過ぎず、幅広い観点から評価するには、時期尚早と考えているところです。

また、完全無償化に当たっては、財政運営上の見通しと、受益と負担の観点からの社会的理解の見通しについて、しっかりと見極めた上で、子育て支援策のバランスを勘案しながら、実施について検討していきたいと考えています。

柳谷議員 給食費に対する保護者の負担を減らすということが子育ての一環だと思い、私は賛成してききましたが、それと同時に食育という観点から見るとどうなんだ

ろうと感じました。

食育として蘭越の位置づけをどのように捉えているか、教育長から答弁いただきたい。

学校給食の無償化の将来像をどう描いているか、町長に伺いたい。

首藤教育長 蘭越町の学校給食については、安全で安心な給食ということ、子供たちが健やかに成長できるように、給食を提供しているところです。

子供たちに食の大切さを知ってもらうため、

栄養教諭から様々な資料を通して子供たちに提供しているところですが、子供たちに対する授業の中での栄養指導、教育指導なども行っています。



無償化の管内の状況については、無料化が赤井川村と黒松内町で行っており、半額無料化は神恵内村と留寿都村、第2子以降の無料化が京極町、第3子以降が古平町と

倶知安町で行っていると聞いてい

ます。

金町長 今後、無償化をどのように考えるかということですが、限られた財源の中、受益と負担の観点から、事業を執行していかなければならぬと考えています。

今すぐに無償化に踏み切るのは、2年ほどやって、もう少し精査が必要であり、無償化にあたってはある程度財源確保も必要だと考えています。

今後、内部又は議員の皆様とも相談しながら、必要に応じてそういう考え方をしていきたい。

柳谷議員 全国に2,000を超える自治体がある中で、進んだ政策を学校給食の中で実施していると、確信を持ってやっていただければと思っています。

町長 町の政策を評価していただいていることは感謝申し上げます。

今後も子育て支援、幼保無償化など、様々な福祉対策というのは重点施策のひとつとして捉えていますので、議会の皆さんと相談しながら対応していきたいと考えています。

ジェット機の超低空飛行による調査と

関係機関への抗議について

柳谷議員

6月7日午後、ジェット戦闘機4機による超低空飛行が本町市街地を中心に行われました。事実関係の把握とともに被害調査の必要性がないのかどうか伺います。

また、住民への威嚇ともれる、こうした行動は許されるものではなく、ルートの調査報告などを関係者に求め、今後こうしたことのないよう、厳重に抗議すべきだと思います。

金町長

6月7日、午後1時30分頃、ジェット戦闘機4機が、低空飛行で蘭越町上空を通過し、近くにいた住民の皆様は、ジェット機の爆音で、何が起ったのか、驚きと戸惑いで不安を感じたことと思います。

私は、公務出張のため実際にその飛行を目視しておりませんでした。駐屯地へ、飛行ジェット機の所属目的及び飛行ルート等の事実確認

をさせたところ、札幌駐屯地北部方面総監部、北海道防衛局、千歳第二航空団では、いずれも米軍機であることのみを承知しており、それ以外の情報は、現時点では知り得ないとの回答でした。

また、低空飛行による落下物等の被害は確認しておりませんが、蘭越小学校では、校庭で運動会の練習をしている中での低空飛行であったことから、校長先生からは、そうした飛行を承知していたならば事前に教えてほしいと、教育委員会へ問い合わせがありました。

住民の不安を煽るような、米軍機の低空飛行・爆音といった行為は許されるものではなく、何か事故等が起ってからは取り返しがつかない状況にあることから、継続して、北海道防衛局等へ今回の事実関係の報告を求めるとともに、必要に応じて、今後、こうしたことのないよう、関係機関へ強く要請してまいりたい。

柳谷議員

どんな状況であったか、私も聞き取りをしておりますので、お知らせしたいと思います。

「速度は速く、機体は音のする方向から、だいが先になっていた」「4機という人がいるけれど、3機ではないか」

「自宅で飼っているペットが壁に激突した、驚いて壁に激突した」「空を飛んでいる感じではなく、木の横に物体があるような印象があった」「落ちると思った」「恐怖を覚えた」とのことです。

平穏な生活をする権利というのは私どもにはあるわけで、傍若無人なこうした行いは許されるものではないということが、皆さん共通した意見ではないかと思えますので、継続して報告を求めるといふことですので、よろしくお願ひしたい。

町長

たまたま私も札幌に公務出張しており、その現場というのは見なかったわけですが、職員等に聞いたところ、向山付近をスレスレに飛んでいったとのことです。

これまでもジェット機の飛来というのがありますが、これまでに無いような低空飛行で飛んで

ったという報告を受けたところで、本当に住民の皆様は、驚きと不安というものもあると思います。

運動会の練習中で、子どもたちも本当に驚いたのではないかと考えています。

自治体としてできる範囲というのは「どうしてこのような事が起こったのか」ということを、札幌防衛局の方へ1回ではなく、「その後どうなったのか」とか、そのような報告を求めるといふ行為を、行いたいと思えますし、必要に応じて防衛局を通して、「このような行為は絶対あってはならない」という要請を含めて行いたいと考えています。



審議結果

主な議案の一部の審議結果をお知らせします。

◆令和元年5月8日

第2回臨時会

動産の取得について

じん芥収集車1台を取得したものです。

令和元年度蘭越町一般会計補正予算(第1号)

地域主導型再生可能エネルギー推進事業委託料1,680万円、
もみ殻圧縮機外1,540万円、
海の学び学習映像資料作成委託料300万円など、3,970万円6千円を追加しました。

◆令和元年6月3日

第3回臨時会

工事請負契約の締結について

大谷団地公営住宅建設建築主体及び解体工事に係る請負契約の締結と昆布地区定住促進子育て

支援住宅建設建築主体工事に係る請負契約をしたものです。

令和元年度蘭越町一般会計補正予算(第2号)

昆布診療所診療業務委託及び蘭越歯科診療所診療業務委託2,256万8千円など、2,344万3千円を追加しました。

◆令和元年6月17日

第2回定例会

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

任期満了に伴い再任の推薦をされた檜伊佐夫氏及び徳光茂氏について、推薦同意したものです。

工事請負契約の締結について

統合診療所建設建築主体工事、統合診療所建設電気設備工事、統合診療所機械設備工事に係る請負契約と御成橋橋梁補修工事に係る請負契約の締結をしたものです。

動産の取得について

スクールバス1台、中学校用パソコン機器等一式、ソフトウェア等一式、もみ殻圧縮成形機1台を取得したものです。

令和元年度蘭越町一般会計補正予算(第3号)

人事異動等に伴う人件費の増減額の措置、民間賃貸共同住宅建設促進事業補助金1,395万円、特別養護老人ホーム1灯園及び高齢者グループホームらんこし、昆布温泉病院燃料費等助成事業316万円、障害者福祉システム改修負担金104万5千円、予報接種委託料105万5千円、浄化槽設置整備事業補助金及び浄化槽排水設備改造資金補助金988万5千円、中山間地域等直接支払い交付金316万9千円、プレミアム付商品券販売・換金事務委託料107万5千円、交流促進センター雪秩父排水枘取替修理外168万7千円など、5,310万3千円を追加しました。

町長からの

行政報告

6月17日に開催された第2回定例会において、金町長より災害関連の行政報告がありました。

6月10日に札幌管区気象台の石田気象防災部長外が来庁され、大雨、暴風や大雪等の甚大な被害が懸念される場合は、気象台から町長へ直接電話でお伝えするので、住民等の避難判断の参考にしていただきたいとの説明がありました。また、6月19日からこれまでの週間天気予報に加え、2週間天気予報の提供を開始するとともに、台風予報についても、これまでの3日先から5日先まで進路予報の提供が可能になるとのことでした。6月13日には、小樽地方石油業協同組合の杉江理事長外が来庁され、地震・水害等の災害時における車両や施設への燃料供給支援について協定を締結しました。議会としても、昨年12月に策定した「蘭越町議会災害時対応マニュアル」に沿って、町と連携し災害に対応してまいります。

議会日誌

蘭越町議会議員・議長の動き

5月8日

蘭越町議会第2回臨時会

蘭越町議会全員協議会

5月13日

例月出納検査（監査委員）

5月20日（倶知安町）

後志町村議会議長会臨時総会

（富樫議長）

5月23日

さけます放流式（永井議員）

5月27日～29日（東京都）

町議会議長・副議長研修会

（熊谷副議長）

5月27日（倶知安町）

後志総合開発期成会定期総会

（富樫議長）

5月29日～30日（札幌市）

後志町村等監査委員協議会総会

及び研究協議会（監査委員）

6月2日（札幌市）

真駒内駐屯地開庁65周年記念観

閲式・祝賀会（永井議員）

6月3日

蘭越町議会運営委員会

蘭越町議会第3回臨時会

6月3日

蘭越町議会全員協議会

総務文教常任委員会

経済建設常任委員会

6月8日

蘭越小学校運動会（難波議員）

6月9日

昆布小学校運動会（難波議員）

ニセコ山開き（富樫議長）

6月11日（札幌市）

後志町議会議長会臨時総会

北海道町村議会議長会定期総会

山麓町村議会正副議長会臨時総

会

6月12日（小樽市・倶知安町）

北海道新幹線・北海道横断自動

車道期成会総会及び要望運動

後志総合開発期成会要望運動

6月13日

例月出納検査（監査委員）

蘭越町議会運営委員会

6月15日

蘭越保育所運動会（難波議員）

6月17日

蘭越町議会第二回定例会

6月22日

昆布保育所運動会（向山議員）

6月25日（札幌市）

北海道町村議会議員研修会

6月26日（札幌市）

後志総合開発期成会要望運動

（富樫議長）

6月27日～28日

（東京都、横浜市）

後志総合開発期成会要望運動

（富樫議長）

6月30日（倶知安町）

倶知安駐屯地創立64周年記念観

閲式・祝賀会（永井議員）

7月7日

町民スポーツ交流会

7月9日（札幌市）

新任議員研修会

（田村議員、金安議員）

7月12日

例月出納検査（監査委員）

7月19日

経済建設常任委員会

7月24日～26日（沖縄県）

羊蹄山麓町村議会正副議長会道

外優良町村視察研修

（富樫議長、熊谷副議長）

7月29日

総務文教常任委員会

編集後記

近年は異常気象が常態化し、今年も列島が梅雨入り後、6月末から九州南部で線状降水帯とみられる現象が発生し、各地に豪雨災害をもたらしておりますが、その豪雨で被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

5月26日午後2時過ぎ、北海道佐呂間町で5月として全国の観測史上最高気温となる39.5度を記録し、その高温好天に恵まれ田植えを終えた稲は、7月10日現在、町内生育の進んだ圃場では一足早い出穂期を迎えております。

お米の収穫まで後2ヶ月足らず、今年は台風や大雨の被害が発生しない事を願っております。

3年前から町民皆さまに読んでいただける「議会だより」にするため、委員それぞれ試行錯誤を重ねてまいりました。この度、新人2名が加わり、心も視点も新たに「議会だより」を通して議会の見える化を進めてまいりたいと思っております。

皆様のご意見、ご要望をお聞かせいただければ幸いに存じます。議会だより編集委員長 向山 博